

神奈川シニア連合 機関紙

あゆみ

2020年 2月20日(金) 第84号

【TEL】045-211-1133 【FAX】045-201-8866 【E-mail】Senior@rengo.or.jp

■発行 神奈川県退職者連合
 ■発行責任者 東谷裕明
 ■連絡先 〒231-0023
 横浜市中区山下町24-1 連合神奈川内

「介護・医療制度の充実」等に向け

自治体等に要請書提出

神奈川シニア連合2019年度「介護・医療制度の充実」等に関する要請書は、11月25日に立憲民主党神奈川県支部、12月2日に国民民主党神奈川県支部連合会、1月10日に横浜市、1月28日に神奈川県、2月4日に相模原市、2月12日の川崎市に提出するとともに、意見交換を行いました。

池田会長は、行政や政党への提出にあたり「①安倍政権で全世代型社会保障の施策が行われているが、現行の高齢者福祉は、満足の状況にはなく負担増や給付の切り下げが続いている。②日本退職者連合の政策要求と神奈川

シニア連合の「制度・政策要求と提言」の取り組みの中から医療と介護の問題を要請書にピックアップし提出する。③将来に継続可能なより良い高齢者福祉の制度・施策づくりに向けてご尽力を願う」等あいさつ。

行政からは、介護や認知症に対応している状況などが詳細に説明されました。意見交換では、①2025年に団塊の世代の800万人が75歳以上になり特養老人ホームや介護従事者は不足すると想定されている。行政の

一層の取り組みの強化を要請する。②認知症に起因する損害賠償については、保険へ加入している自治体もある。各自治体の声を集約して国に制度を求める努力を願いたい。③訪問介護における「身体介護」と「生活支援」は、一体のものであり、国がサービスを分断し「生活支援」における報酬額の切り下げや利用回数の制限、利用料の条件設定することに反対するよう国に働きかけること。④要介護2級以下の(軽度要介護)の認定率の上昇幅が押し下げられていると思われる。介護離職の抑止、各行政の認定に差異の無い取り組みをお願いする。などについて重ねて要請しました。



神奈川県 牧労政グループGLに提出



横浜市 山本雇用労働課長に提出



相模原市 仙波雇用労政課長に提出



川崎市 倉労政担当課長に提出

2020年度・第2回幹事会

第30回神奈川シニア集会の中止と

「政策・制度要求と提言」等を決定



2020年度・第2回幹事会(2020.2.17)

続いて、米塚連合神奈川副事務局長から春闘情勢などの情勢報告を含めた挨拶を受けた後、第1回幹事会(12月23日)以降の活動報告を東谷事務局長から受け承認。

2020年度第2回幹事会は、2月17日(月)15時00分から、ワークピア横浜において開催しました。

会議は、冒頭に永井光夫幹事(神教協)の開会と議長就任のあいさつで始まり、池田会長が「①新型コロナウイルスの感染拡大等を懸念し、第30回神奈川シニア集会の中止を決定したこと。②令和2年の年金の改定について。③第201国会における安倍首相の軽薄な答弁や対応」などに触れ挨拶。

そして、協議事項では、①14時00分から開催した第30回神奈川シニア集会NO2実行委員会において「3月30日(月)14時開00分から開催予定の第30回神奈川シニア集会を新型コロナウイルスの感染拡大などを理由に中止する。②2021年度に向けた神奈川シニア連合「政策・制度要求と提言」は、政策小委員会や政策委員会の論議を経て資料のとおりまとめた。③視察研修旅行は、10月中旬に実施する。④施設見学は、6月8日(月)に参議院国会議事堂見学と議員会館で参加者交流を行う等について論議した後、満場一致で決定。そして、当面の日程について全体で確認し会議は、終了しました。

政策・制度要求実現

2.13 院内集会

第201通常国会「政策・制度要求実現2.13院内集会」は、参議院会館1階講堂において産別の退職者会役員・会員、地方連合の役員等300名を集め開催され、神奈川シニア連合から池田会長をはじめ6名が参加しました。

冒頭、人見日本退職者連合会長は「第201通常国会における安倍首相の桜を見る会などの答弁は『日本は大丈夫か』と不安や不満を増長させている。日本退職者連合は、将来にわたり安心できる社会保障制度の構築に向け、政策・制度要求などの取り組みに全力をあげる」と挨拶。続いて、連合・立憲民主党・国民民主党・社会民主党代表が国会に臨む論戦等について述べ挨拶。そして、連合総研平川首席研究委員から「第201通常国会における課題 年金・医療・介護について」の講演、野田事務局長の「今後の取り組み」についての提起、集会アピールの採択に続き、最後に「団結頑張ろう」を三唱して集会は終了しました。

「ボランティア基金」から寄附



相模原市への寄附

神奈川シニア連合は、2月4日に相模原市、2月12日に川崎市に昨年の台風19号により被災された地域の復興・復旧に役立ててもらおう災害義援金として「神奈川シニア連合ボランティア基金」からそれぞれ7万円を寄附しました。「神奈川シニア連合ボランティア



川崎市への寄附

基金」は、神奈川シニア連合25周年記念事業として2017年11月22日に開催した第26回総会で設立し、本年度初めて寄附を行いました。引き続き、各産別・会員の皆様のご支援・ご協力を得て社会貢献活動を継続・発展をさせたいと思っております。よろしくお願致します。